



広げようシンフォニーのひびき
全国オーケストラ交流演奏会

1991.11.24. SUN

13:30~16:30(開場13:00)

主催

文化庁／千葉県／千葉県教育委員会
市川市／市川市教育委員会
日本アマチュアオーケストラ連盟
日本教育音楽協会
千葉交響楽団協会
千葉県教育研究会音楽教育部会
千葉県高等学校教育研究会音楽部会
第6回国民文化祭千葉県実行委員会
第6回国民文化祭市川市運営委員会



文化庁長官
川村 恒明

第6回国民文化祭ちば'91が豊かな自然に恵まれ“豊かさを実感できるふるさと”を目指す、ここ千葉県において、いよいよ10日間にわたり盛大に開催される運びになりました。

この国民文化祭は、年に一度、全国各地で各種の文化活動を行っておられる方々が、共通のテーマのもとに、開催県下の各会場に集い、競演し、交流することを通じて、芸術文化活動への参加の拡大と新しい芸術文化の創造、各地域の特色ある文化の発展を期して開催されるものであります。

本年度は、「一咲かせよう未来」をテーマに、文化庁、千葉県及び関係団体等の共催で、全都道府県及びアメリカ、イタリア、スペイン、スウェーデン、インドネシア等国内外から多くの参加者を得て、県下15市1町において文化の祭典が華やかに繰り広げられることとなっております。

文化の時代といわれて既に久しいところでありますが、心の豊かさを求めて、国民各位の芸術文化に対する関心はかつてない程高まってきており、特に自ら芸術文化活動に参加しようとする気運は益々増大しております。

このような状況の中で、千葉県における国民文化祭の開催が、国民の芸術文化活動の一層の進展の契機となり、我が国の文化の発展に寄与することを心から期待するものであります。

終わりに、本文化祭開催に格別の御尽力をいただいた千葉県を初め、各都道府県、文化団体等関係者各位に深甚の敬意を表するとともに、第6回国民文化祭ちば'91の成功を折念して、ごあいさついたします。



千葉県知事
沼田 武

今、時代は、21世紀に向かって大きく変わろうとしています。

人々の生活も、余暇時間の増大を求め、物質的な豊かさよりも心の豊かさを求める方向へと変化してきています。また、高齢化社会の到来や価値観の多様化に対応して、新しいライフスタイルの確立が求められています。

さらに、情報や交通手段の発達などによって世界の国々ともさまざまなかかわりを持つ今日、文化交流や人と人との交流を通じて相互理解を深めていくことがますます重要となってきております。

このような時に、日本文化の優れた伝統を承継しつつ、新しい文化の創造と地方文化の振興を図り、加えて国際文化交流の促進を図ろうとするアマチュアの文化の祭典「第6回国民文化祭ちば'91」を開催できますことは、21世紀に向けて首都圏の新しい情報発信基地として飛躍しようとする本県にとりまして、極めて意義深く、喜びに堪えないところであります。

千葉県は、首都圏にあって豊かな自然を残しながら全国有数の産業県となっております。一方、この房総の地の温暖な気候と豊かな自然は古くから人々の交流を盛んにし、万葉集を初めとする古歌にも歌われる等多くの歴史と文化を育んできております。

千葉県では、こうした先人からの遺産を付け継ぎ、21世紀に向けて豊かさを実感できる県づくりを進めようとしております。

「咲かせよう未来」をテーマにした「第6回国民文化祭ちば'91」では、こうした房総の伝統文化や文化資源を活用するとともに、新しい文化の創造を目指した試みも積極的に取り入れ、話題と魅力にあふれた楽しい国民文化祭を幕張メッセをメイン会場に県下の15市1町で繰り広げてまいりたいと考えております。

おわりに、開催に当たり多大なご支援、ご協力を賜りました皆様に厚くお礼を申し上げます。

市川市長 高橋 國雄



「第6回国民文化祭ちば'91」が房総半島の豊かな海に囲まれたここ千葉県で開催されますことは誠に喜ばしいことと存じます。

市川市においては、全国屈指の文化会館を会場に「吹奏楽の祭典」と「全国オーケストラ交流演奏会」の2つの事業が開かれますとは、私どもにとりましてこのうえもない喜びであります。

市川市は昭和9年11月3日市制施行以来、東京に隣接した住宅都市、文化都市として50有余年の歴史を歩んで参りましたが、この間、市域の拡張と共に、市民の本市に対する愛着と市勢発展への協力により、文化的基盤も整えられ、古い歴史と多くの文化遺産に恵まれた文教のまちとして発展してまいりました。

とりわけ芸術文化各部門にわたり、小・中・高・大学生の他、市民団体による活動がきわめて活発であります。

このときに、このすばらしいイベントが開催されますことはこの上もなく意義深いものでございます。

「吹奏楽の祭典」では「奏てよう！明日を」をテーマとして電子楽器を取り入れた編成で新しい試みによる演奏やステージドリルも行われますが、オープニングは市川市及び近隣市の小・中・高等学校の児童・生徒の選抜による演奏と合唱で盛りあげるようになっております。

また、「全国オーケストラ交流演奏会」では「広げようシンフォニーのひびき」をテーマとして全国のアマチュアオーケストラの団員の協演や著名な指揮者による指導のもと、フレッシュでシンフォニックな演奏が行われます。

このように全国の皆様とわが市民との音楽を通しての交流ができることはすばらしいことと存じます。

第6回国民文化祭が市川市の新しい文化の創造と発展に大きく貢献することを確信しております。

終わりに、この国民文化祭の開催にあたりましてご尽力いただきました皆様に心から感謝申しあげ、歓迎のごあいさつといたします。

「全国オーケストラ交流演奏会」事業別委員長 服部 驍



みなさま、本日はようこそ「全国オーケストラ交流演奏会」にお越し下さいました。“文化の国体”といわれる国民文化祭も、こととして6回目を迎えますが、オーケストラ部門も毎年素晴らしい実績をあげてきております。

千葉県ではアマチュアオーケストラ活動が極めて盛んで、小学校から一般社会人までその層の厚さ、レベルの高さでは、おそらく全国有数であろうかと思えます。ちなみにその数は、小学校が20校以上、中学校が17校、高校が7校、社会人中心に地域で活動するオーケストラは20団体を数えております。今回の企画に当たっては、各分野の方々と協議し、こうした千葉県の特色を生かしたプログラムを組むことができました。すなわち、小・中学校は県内選抜、高校・大学については県外の有志を加え、一般は、全国のアマ・オケ仲間215名によって編成いたしました。これら五つのステージに、黒岩英臣先生をはじめ、我国第一線の指導者を迎えますが、特に、本県出身でいまや我国指揮界のホープとして活躍中の現田茂夫・三原明人両先生にご指導いただけたのも大変意義深いものがあります。加えて、ソリストとしてご出演下さるヴァイオリンの漆原朝子さんは、習志野一中の出身であり今や押しも押されぬ世界的プレーヤーであります。こうした、本県の誇りとするアーティストを迎えてのステージは、ご来場のみなさまに必ずやご満足いただけるものと信じております。どうぞ音楽にかけるアマチュアのひたむきな情熱をおききとり下さい。

プログラム

- ① 小学生のステージ 指揮＝三原明人
交響詩『フィンランディア』……………シベリウス
ラデツキー行進曲……………J・シュトラウス

- ② 中学生のステージ 指揮＝三原明人
行進曲『威風堂々』第1番……………エルガー
ディズニー・マジック……………ボブ・ローデン(編曲)

- ③ 高校生のステージ 指揮＝現田茂夫
楽劇『ニュールンベルグのマイスタージンガー』第1幕への前奏曲……………ワーグナー

- ④ 大学生のステージ 指揮＝現田茂夫
ヴァイオリン＝漆原朝子
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35……………チャイコフスキー

◇◇◇休憩◇◇◇

- ⑤ 一般のステージ 指揮＝黒岩英臣
交響曲第4番 ヘ短調 作品36……………チャイコフスキー

- ⑥ 全員合唱
里の秋……………海沼 実(作曲) 村上正治(編曲)
齋藤信夫(作詞)

小学生のステージ

交響詩「フィンランディア」

シベリウス(1865-1957 フィンランド)

交響詩「フィンランディア」は、北欧の国フィンランドの作曲家シベリウスの34才の時、1899年の作品です。彼は、はじめ、ベルリンやウィーンに留学しましたが、フィンランドに帰ってから作曲をはじめ、この国の歴史劇を材料とする「交響詩」をはじめ、民族色の濃い国民主義的な作品を多く残しています。

「フィンランディア」は、当時ロシアの支配下にあったフィンランドの愛国独立運動の一環として、フィンランドの歴史を描いた劇「いにしえからの情景」の劇音楽の一つです。それが、1900年に独立した曲に書き直されたものです。

曲は、アンダンテ・ソステヌートの序奏、まず、金管楽器の重々しい旋律で開始されます。それから曲はしだいに激しく盛り上がりティンパニーと金管楽器による鋭い動機、やがて、第二主題に続いて意気上がる主題が演奏されます。

主部の演奏がクレッシェンドで山が築かれ、それが引くように遠ざかると、賛歌風の美しい旋律が奏でられます。この旋律に「フィンランド讃歌」として作詞されたものが「平和な讃歌」という合唱曲となり、今日、フィンランドの準国歌のように愛唱されています。

ラデツキー行進曲

ヨハン・シュトラウス一世(1804-1849 オーストリア)

ラデツキー行進曲は「ワルツの父」とも呼ばれるヨハン・シュトラウス一世の作品です。彼はウィenna・ワルツの創始者で、後にシュトラウス二世(ワルツ王)や、ヨゼフ、エドゥアルトの三人に引き継がれていきます。

この曲は、彼の最も有名な作品でもあります。

曲名となっているラデツキー将軍は、当時オーストリア帝国領だった北部イタリアの分離独立運動を鎮圧した勇将です。そして、その凱旋祝賀会で演奏するために作られたのがこの行進曲で、祝賀会当日(1848年8月31日)が初演だといわれています。

曲は、主部(ABA)、トリオ(ABA)主部という構成で、今では、色々な交響楽団によるアンコール曲としてもよく演奏されます。

中学生のステージ

行進曲「威風堂々」第1番

エルガー(1857-1934 イギリス)

エルガーは、はじめ教会のオルガン奏者でしたが、独学で作曲の道に入り、多くの管弦楽曲、室内楽曲、協奏曲、歌曲、ピアノ曲を残しました。彼の作風は後期ロマン派的な重厚さを持っていますが、この管弦楽用行進曲「威風堂々」第1番は彼の作品の中でも特に有名です。

「威風堂々」というタイトルは、シェイクスピアの「オセロ」から引用したといわれています。エルガーは、この軍隊行進曲のセットを全部で6曲とする構想を持っていたのですが、それは果たせず、5曲で構成されています。その第1番がこの曲で、1901年に作曲されました。

曲は、アレグロ・コン・モルト・フォーコ、二長調、四分の二拍子で三部形式。中間部の親しみやすい旋律によって、全5曲の中で最もよく知られている曲です。

時の英国国王エドワード七世がこの中間部の旋律を絶賛したことから、後にこの旋律に歌詞をつけ、独立した歌曲として愛唱されています。

勇壮な序奏、活発な第1主題、躍動的な第2主題、トリオの親しみやすい旋律、そして終曲の力強い響き等、ミリタリーマーチの味わい深い名曲といえましょう。

「ディズニーマジック」

(ディズニー映画音楽より)

ディズニー(1901-1966)はアメリカの漫画映画製作者。1923年、兄と共にハリウッドにおもむき、「ミッキーマウス」で一躍人気を得ました。以来、ドナルド、シリー・シンフォニーをはじめ画期的な長編映画「白雪姫」で、従来の漫画映画の地位を改めました。1955年には、ディズニーランドを設立した大実業家でもあります。このステージでは、数多くの映画に使われた音楽の中から、ボブ・ローデン編曲の次の曲をメドレーで演奏します。

- (1) ZIP-A-DEE-DOO-DAH
- (2) CANDLE ON THE WATER
- (3) チム・チム・チェリー
- (4) 夢はあなたの心の願い
- (5) 小さな世界

🌀🌀🌀 高校生のステージ 🌀🌀🌀

楽劇「ニュールンベルグのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲
ワーグナー(1813-1883 ドイツ)

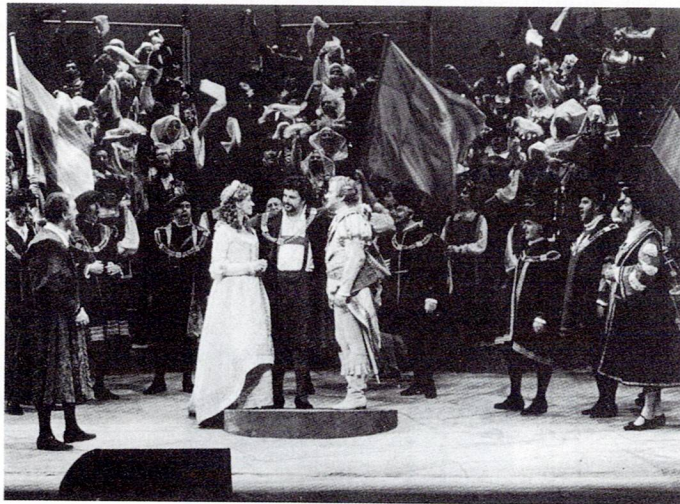
ワーグナーは、伝統的なオペラから、劇と音楽の進行を同時にした新しい歌劇『楽劇』という形を創造した作曲家で、「さまよえるオランダ人」「タンホイザー」「ローエングリン」など、多くのオペラを作りました。

16世紀のドイツでは各都市で、民衆の歌い手が盛んに作られた時代で、ニュールンベルグのまちは、いわゆる「吟遊詩人」といわれる歌い手の全盛期でもありました。

その当時のマイスター(職人の親方)は、同時に歌の道を習得することを旨としました。即ち、「マイスタージンガー」は、職人の親方であり、同時に歌の名人でもあるのです。当時のニュールンベルグでは、手に職を持つ者は、マイスタージンガーになることが夢であったといわれています。このオペラは、マイスタージンガーを目指す人(主人公ザックス)の徒弟関係や恋愛を織り込んだ喜劇です。

この前奏曲は、第1幕に入る前に演奏される曲で、力強い堂々とした「マイスタージンガーの動機」からはじまり、色々な動機に引き継がれて立体的に織りなされ、すばらしい緊張感をもちあげる壮大な曲です。

オペラの総譜は1867年に完成しましたが、この前奏曲は1861年、ワーグナーの48才の頃の作品です。



大学生のステージ

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
チャイコフスキー(1840-1893 ロシア)

チャイコフスキーは、ロシア民族的なものと同西欧的なものとの折衷的作風を守り通した作曲家で、交響曲、オペラ、バレエ音楽、ピアノ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲その他幅広い曲種で数多くの作品を残しています。

彼のヴァイオリン協奏曲は、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、ブラームスのヴァイオリン協奏曲と同じように、この種の曲では最もひろく愛好されている一つとなっています。そして、それらの曲が一生のうち一つしか作られていないという共通点を持っていることも面白いことです。

第1楽章は、アレグロ・モデラートーモデラート・アッサイ、二長調、四分の四拍子。ソナタ形式。

第2楽章は、カンツォネッタ・アンダンテ、ト短調、四分の三拍子。三部形式。静かな序奏から入り、変化しながら追想的に終結し、切れ目なく次の楽章へ続きます。

第3楽章は、終曲で、アレグロ・ヴィヴァチェッシモ、二長調、四分の二拍子。ロンド・ソナタ形式。第1主題も第2主題もロシアの民族舞曲トレパークの形によって地方色を表わし、イ長調、ト長調、ニ長調に転じ熱狂的な終結部となります。

ヴァイオリンの絢爛たる近代的技巧を十分に発揮し、色彩豊かな管弦楽とともに新鮮な味わいを持たせ、ロシア民謡を加味したチャイコフスキー独特の哀愁がこもっているという点が、この曲の特色でありましょう。



一般のステージ

交響曲第4番 ヘ短調 作品36
チャイコフスキー(1840-1893 ロシア)

チャイコフスキーの6曲の交響曲のうちの第4番の曲で、彼の交響曲のなかで最も変化の多い、最も熱情的な曲といわれています。そして、「第1番」から「第3番」までは素朴な民族的表現が中心になっていますが、「第4番」から「第6番」(悲愴)までの交響曲で、チャイコフスキーの個性が完全に発揮され、独自のスタイルが築かれたといわれています。

彼の新しい展開となった「第4番」は、チャイコフスキーの特色とする旋律の暗い美しさ、構成のすばらしさ、管弦楽の取り扱いの妙、これらが、この曲を永久に愛されるものとしているのです。

この曲が作られたのは彼が36歳の頃ですが、彼が不幸な結婚問題で悩み、自殺まで企てていた時代の作品です。当然その悩みが作品に反映されていることと思われま

す。1878年この曲は完成されました。

第1楽章はソナタ形式。序奏はアンダンテ・ソステヌート、ヘ短調、四分の三拍子ですが、主部に入って、モデラート・コン・アニマ、ヘ短調、八分の九拍子(ワルツの動きで)となり、あとでロ長調に変化しています。

第2楽章はアンダンテ・イン・モード・デイ・カンツォーナ、変ロ短調、四分の二拍子。三部形式。悲哀の楽章です。

第3楽章はスケルツォ、ピッツィカート・オスティナート、アレグロ、ヘ長調、四分の二拍子。気まぐれな空想ともいえる楽章です。

第4楽章は終曲。アレグロ・コン・フォーコ、ヘ長調、四分の四拍子。形式は自由な形で強烈な終結部で終わります。希望の楽章です。

全楽章に亘ってチャイコフスキー自身「最愛の友」というフォン・メック夫人への手紙の中で、かなり詳細に説明を加えているように、この交響曲は標題的な要素が強い曲といえます。

全員合唱「里の秋」

この曲の作曲者、海沼実数は数多くの童謡を作曲して一世を風靡しましたが、作詞者、斎藤信夫もまた海沼実とのコンビによる名曲が多くあります。

斎藤信夫(1911-1987)は千葉県成東町に生まれ、千葉師範学校卒業後、千葉市をはじめ県内小、中学校に教鞭をとるかたわら、1932年以来数多くの童謡を作詞しました。

その中には、「里の秋」の他にも「蛙の笛」「ばあやを訪ねて」「夢のお馬車」などもあり、その作品数は1万1千を越えています。

「里の秋」は、千葉県の田舎の秋の情景を、温かくえがいている作品で、今なお、子どもたちとともに家庭の愛唱歌として親しまれています。

編曲者、村上正治は市川交響楽団の創設者、指揮者でもあり、現在も千葉県音楽振興協議会会長として、本県アマチュアオーケストラの育成をはじめ、幅広く各芸術活動の振興に尽力されています。

(解説 小川 平八)

プロフィール



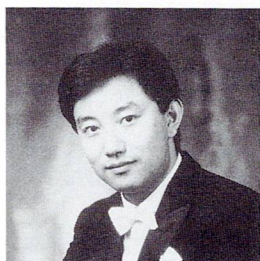
黒岩 英臣 (くろいわ・ひでおみ=指揮)

桐朋学園大学で指揮法を故斎藤秀雄氏に師事。在学中より同大学のオーケストラを指揮する他、ヴィオラ奏者、ピアノ奏者としても活躍した。大学卒業後、10年間の修道生活を送り、その間、グレゴリアン、ポリフォニー等を学び、典礼音楽の指揮、作曲を行う。1976年、再び音楽に専念、77年1月東京都交響楽団ファミリーコンサートで一躍脚光を浴びた。その後、札幌交響楽団、九州交響楽団等の定期演奏会をはじめ、東京の主要オーケストラとの共演も数多く行っており、今後の活躍が期待されている。



現田 茂夫 (げんだ・しげお=指揮)

小・中・高校を千葉県にて過ごす。高校在学中に故金子登氏に指揮の手ほどきを受ける。東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後、東京芸術大学指揮科で佐藤功太郎氏に師事。1985年、安宅賞受賞。1987年9月、新星日本交響楽団指揮者に就任。翌年4月、マーラーの「交響曲第4番」を指揮し、鮮烈なオーケストラデビューを飾る。同年10月、来日中ドレスデン・フィルに客演したのをはじめ、国内の主要オーケストラを指揮し、好評を得ている。



三原 明人 (みはら・あきと=指揮)

1961年生まれ、東京都出身。東京芸術大学卒業。桐朋学園大学で指揮法を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、高階正光の各氏に師事。1989年オランダで行われた「第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」で第2位入賞。オランダ放送フィルを指揮して阿姆斯特ダムでデビュー。日本では東京都交響楽団を指揮してデビューし、1991年からは愛知県立芸術大学講師として後進の指導にもあたっている。また、芸大在学中よりヴィオラ奏者としても活躍しており、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとしてヨーロッパ公演にも参加した。



漆原 朝子 (うるしはら・あさこ=ヴァイオリン)

4才からヴァイオリンを始める。小学校時代を神奈川で過ごし、中学時代を千葉県で送った。その後、東京芸術大学付属高校に進み、東京芸術大学を卒業。1983年第2回日本国際音楽コンクール第一位および日本人作品最優秀演奏者賞受賞。1986年よりジュリアード音楽院に留学。1987年第4回アリオン賞受賞。1988年にはニューヨーク、ワシントンでデビュー。メンデルスゾーン、チャイコフスキーのCDが発売され好評を博した。今後も国際的な活躍が大いに期待されている。



若月 純子 (わかつき・すみこ=司会)

NHK「ニュースセンター9時」のリポーターやお天気おねえさんとして知られている。現在、テレビの司会やCM・舞台でも活躍中である。

●小学生のステージは、千葉県内12の小学校より選抜メンバー135名によって編成されております。

【参加校名】船橋市立宮本小学校、船橋市立海神小学校、船橋市立小栗原小学校、船橋市立法典東小学校、船橋市立法典西小学校、船橋市立前原小学校、船橋市立古和釜小学校、船橋市立坪井小学校、市川市立鬼高小学校、市川市立行徳小学校、市川市立曾谷小学校、習志野市立谷津小学校

●中学生のステージは、千葉県内15の中学校より選抜メンバー170名によって編成されております。

【参加校名】船橋市立宮本中学校、船橋市立葛飾中学校、船橋市立行田中学校、船橋市立御滝中学校、船橋市立高根中学校、船橋市立前原中学校、船橋市立七林中学校、船橋市立三田中学校、船橋市立大穴中学校、市川市立第六中学校、習志野市立第一中学校、柏市立中原中学校、野田市立第二中学校、国府台女子学院中等部、聖徳大学附属中学校

●高校生のステージは、千葉県内5つの高等学校の選抜メンバーに兵庫県及び宮崎県からの参加者を加え150名で編成されております。

【参加校(団体名)】兵庫県立神戸高等学校、宮崎ジュニアオーケストラ、千葉県立千葉高等学校、千葉県立幕張西高等学校、千葉県立津田沼高等学校、千葉県立船橋高等学校、国府台女子学院高等部

●大学生のステージは、千葉大学管弦楽団を主体に神戸大学交響楽団、三重大学管弦楽団から参加し70名で編成されております。

●一般のステージをかざる220名のオーケストラは、全国各地で活躍するアマチュアオーケストラの有志で編成されております。ほとんどは社会人によるオーケストラですが青少年によるジュニアオーケストラからも一部参加しております。

【参加団体】▼岩手県 岩手県民オーケストラ ▼山形県 山形フィルハーモニー交響楽団 ▼栃木県 栃木県交響楽団、鹿沼フィルハーモニー管弦楽団 ▼群馬県 群馬シティフィルハーモニーオーケストラ ▼埼玉県 埼玉青少年交響楽団、大宮フィルハーモニー管弦楽団、戸田交響楽団 ▼神奈川県 川崎市市民交響楽団、厚木ジュニアフィルハーモニー交響楽団 ▼東京都 町田ジュニアオーケストラ、東京ロイヤルフィルハーモニーオーケストラ ▼長野県 諏訪交響楽団 ▼石川県 金沢交響楽団 ▼福井県 福井交響楽団 ▼奈良県 奈良交響楽団 ▼京都府 MAF管弦楽団 ▼和歌山県 和歌山市交響楽団 ▼三重県 三重フィルハーモニー交響楽団、四日市交響楽団、伊勢シティーフィルハーモニック管弦楽団 ▼兵庫県 西宮交響楽団 ▼島根県 山陰フィルハーモニー管弦楽団 ▼愛媛県 愛媛交響楽団 ▼佐賀県 佐賀交響楽団 ▼宮崎県 宮崎交響楽団 ▼大分県 大分交響楽団 ▼熊本県 熊本交響楽団 ▼千葉県 習志野フィルハーモニー管弦楽団、千葉市管弦楽団、我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団、船橋フィルハーモニー管弦楽団、佐倉フィルハーモニー管弦楽団、成田フィルハーモニー管弦楽団、習志野青少年交響楽団、浦安シティオーケストラ、鎌ヶ谷市民オーケストラ、市川交響楽団

I ヴァイオリン

西野 卓実 (金沢交響楽団)
 大貫 健治 (栃木県交響楽団)
 片山 光弘 (群馬シティフィルハーモニー)
 大村 玲子 (群馬シティフィルハーモニー)
 長谷川幸子 (大宮フィルハーモニー)
 白井 篤 (厚木ジュニアフィルハーモニー)
 大野 晃正 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 笠松 秀臣 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 北嶋 英子 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 佐藤 敏 (諏訪交響楽団)
 坂倉 元 (三重フィルハーモニー)
 新立 勝彦 (四日市交響楽団)
 中村 淳子 (山陰フィルハーモニー)
 北川 謙二 (愛媛交響楽団)
 横尾 聖史 (佐賀交響楽団)
 柚原三弥子 (熊本交響楽団)
 岡本 誠司 (習志野フィルハーモニー)
 北川 貞之 (千葉市管弦楽団)
 岩撫 米次 (佐倉フィルハーモニー)
 中里 典子 (習志野青少年交響楽団)
 清水 暉允 (鎌ヶ谷市民オーケストラ)
 川口 弘 (鎌ヶ谷市民オーケストラ)
 安藤撰津子 (市川交響楽団)
 亀井 玲子 (市川交響楽団)
 鈴木 淳子 (市川交響楽団)
 鳥塚 昭子 (市川交響楽団)
 長尾 浩行 (市川交響楽団)
 永田 匡 (市川交響楽団)
 広浜 浩司 (市川交響楽団)
 福原 祥子 (市川交響楽団)
 松山 和子 (市川交響楽団)
 三田村忠芳 (市川交響楽団)
 渡辺千恵子 (市川交響楽団)
 米原 大司 (埼玉青少年交響楽団)

II ヴァイオリン

笠原 和子 (岩手県民オーケストラ)
 野崎 明裕 (岩手県民オーケストラ)
 地中 啓 (金沢交響楽団)
 乗富 政雄 (金沢交響楽団)

片山 正子 (群馬シティフィルハーモニー)
 梁瀬みどり (群馬シティフィルハーモニー)
 田中 裕敏 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 保坂 俊正 (諏訪交響楽団)
 山外 敏之 (佐賀交響楽団)
 伊比井智子 (宮崎交響楽団)
 東原 擁慈 (宮崎交響楽団)
 高橋 健夫 (習志野フィルハーモニー)
 高橋信太郎 (千葉市管弦楽団)
 永野 武 (我孫子市民フィルハーモニー)
 吉田 昌代 (習志野青少年交響楽団)
 高田 千秋 (浦安シティオーケストラ)
 津下 和代 (浦安シティオーケストラ)
 石本 恵理 (市川交響楽団)
 上野 洋子 (市川交響楽団)
 栗原 えみ (市川交響楽団)
 堤 哲児 (市川交響楽団)
 二宮 伸雄 (市川交響楽団)
 根守 弘和 (市川交響楽団)
 久田しげ子 (市川交響楽団)
 石井 久雄 (市川交響楽団)
 松延 裕子 (市川交響楽団)
 村上 葉子 (市川交響楽団)
 深沢 武夫 (市川交響楽団)
 田中 有貴 (神戸大学交響楽団)

ヴィオラ

千葉 直子 (岩手県民オーケストラ)
 山田 昭人 (岩手県民オーケストラ)
 中屋 俊一 (群馬シティフィルハーモニー)
 三浦真理子 (大宮フィルハーモニー)
 栗山 劭 (川崎市民交響楽団)
 坂井 恵美 (厚木ジュニアフィルハーモニー)
 松野由樹子 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 山口由加里 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 小池 宏美 (諏訪交響楽団)
 武井 勇二 (諏訪交響楽団)
 高橋 正昭 (伊勢シティフィルハーモニック)
 角 久夫 (山陰フィルハーモニー)
 升田 勝喜 (愛媛交響楽団)
 斉藤 和洋 (宮崎交響楽団)

阪上 耕三 (習志野フィルハーモニー)
 成宮 義和 (習志野フィルハーモニー)
 藤田 浩子 (千葉市管弦楽団)
 野部 実 (我孫子市民フィルハーモニー)
 松丸 理恵 (習志野青少年交響楽団)
 久保木佳代子 (市川交響楽団)
 斉藤十一郎 (市川交響楽団)
 高橋 行継 (市川交響楽団)
 竹内ひとみ (市川交響楽団)
 星 乗昭 (市川交響楽団)
 村上 賢一 (市川交響楽団)
 横田 行雄 (市川交響楽団)
 渡部 玲子 (市川交響楽団)
 内田 綾美 (市川交響楽団)
 大塚 貞治 (神戸大学交響楽団)
 高田 励 (神戸大学交響楽団)

チェロ

高橋 裕子 (山形フィルハーモニー)
 清水 昭治 (金沢交響楽団)
 大貫かおる (栃木県交響楽団)
 角田 孝之 (栃木県交響楽団)
 池上 雅人 (戸田交響楽団)
 坂井 美穂 (厚木ジュニアフィルハーモニー)
 安藤久美子 (厚木ジュニアフィルハーモニー)
 佐川 純 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
 伊藤 文夫 (諏訪交響楽団)
 竹内 嘉浩 (奈良交響楽団)
 加藤 浩美 (三重フィルハーモニー)
 土居美津子 (愛媛交響楽団)
 副島 直利 (佐賀交響楽団)
 白沢 史子 (大分交響楽団)
 篠崎 琢弥 (千葉市管弦楽団)
 池田 寛之 (佐倉フィルハーモニー)
 鍋島 悦子 (佐倉フィルハーモニー)
 大矢真由美 (成田フィルハーモニー)
 倉沢 由和 (市川交響楽団)
 田頭 抹 (市川交響楽団)
 中村 公一 (市川交響楽団)
 樋口 進 (市川交響楽団)
 福原 耕二 (市川交響楽団)

一般のステージ出演者

山口 勝規 (市川交響楽団)

コントラバス

馬場 敬行 (群馬シティフィルハーモニー)
内沢 法孝 (埼玉青少年交響楽団)
野田 里佳 (M A F 管弦楽団)
和田守正則 (山陰フィルハーモニー)
副島 和久 (佐賀交響楽団)
神田 繁 (大分交響楽団)
田上 博子 (熊本交響楽団)
河内 恵二 (千葉市管弦楽団)
菊地 克彦 (市川交響楽団)
三輪 泰之 (市川交響楽団)
村上 信乃 (市川交響楽団)
李 隆子 (市川交響楽団)
内田 葉子 (市川交響楽団)
鈴木 重則 (市川交響楽団)

フルート・ピッコロ

小林 克至 (鹿沼フィルハーモニー)
安藤 直典 (群馬シティフィルハーモニー)
後藤 祐司 (町田ジュニアオーケストラ)
木本 久子 (M A F 管弦楽団)
古川智恵子 (佐賀交響楽団)
西山真理子 (浦安シティフィル)
梅田 智子 (浦安シティフィル)
土屋伸一郎 (浦安シティフィル)
木村 純一 (市川交響楽団)
木村真論紀 (市川交響楽団)

オーボエ

梅沢 弥生 (山形フィルハーモニー)
西 昭久 (金沢交響楽団)
吉田 史郎 (福井交響楽団)
野口 隆弘 (和歌山市交響楽団)
岩本 周栄 (西宮交響楽団)
岩田 裕子 (愛媛交響楽団)
原 正行 (佐賀交響楽団)
小長井重信 (千葉市管弦楽団)
荒井 淳 (市川交響楽団)

クラリネット

西本 和史 (三重フィルハーモニー)
鈴木 雅文 (伊勢シティフィルハーモニック)
小柳 幸子 (佐賀交響楽団)
桃崎美由紀 (大分交響楽団)
大内 英典 (習志野フィルハーモニー)
小林 資典 (浦安シティオーケストラ)
時田 雄 (市川交響楽団)
吉野 智久 (市川交響楽団)

ファゴット

神部 泰子 (岩手県民オーケストラ)
岸 昭太郎 (群馬シティフィルハーモニー)
富田 琢哉 (厚木ジュニアフィルハーモニー)
菅原 斉 (千葉市管弦楽団)
金坂 哲 (市川交響楽団)
戸川 安道 (市川交響楽団)
小島 厚 (市川交響楽団)

ホルン

荒井 洋志 (山形フィルハーモニー)
小林 康 (栃木県交響楽団)
尾花 智樹 (町田ジュニアオーケストラ)
佐藤 公範 (厚木ジュニアフィルハーモニー)
中嶋 理 (東京ロイヤルフィルハーモニー)
米川 誠 (三重フィルハーモニー)
水谷 達 (四日市交響楽団)
山内 正晴 (船橋フィルハーモニー)
嶋村 恒夫 (市川交響楽団)
河野 和正 (市川交響楽団)
越塚 康央 (市川交響楽団)
水田ひろし (市川交響楽団)

トランペット

庄屋 毅一 (金沢交響楽団)
片山 弘真 (鹿沼フィルハーモニー)
角張 俊明 (群馬シティフィルハーモニー)
明石 育利 (福井交響楽団)
河野 邦明 (愛媛交響楽団)
縄野 光孝 (我孫子市民フィルハーモニー)
木村 昭弘 (船橋フィルハーモニー)

安藤 宣明 (市川交響楽団)
真野 大典 (市川交響楽団)
日笠 直子 (神戸大学交響楽団)

トロンボーン

大沢 猛 (奈良交響楽団)
稲垣 利樹 (四日市交響楽団)
加藤 英之 (大分交響楽団)
堀越 秀男 (習志野フィルハーモニー)
小沢 宏 (習志野フィルハーモニー)
末益 賢一 (我孫子市民フィルハーモニー)
野木夕起子 (市川交響楽団)
久保 昭 (市川交響楽団)
薮崎 裕至 (市川交響楽団)
椛谷 妙絵 (市川交響楽団)
糸 秀樹 (市川交響楽団)

チューバ

大作 一郎 (習志野フィルハーモニー)
渡辺 鉄雄 (市川交響楽団)

パーカッション

神戸 美貴 (群馬シティフィルハーモニー)
田賀浩一朗 (町田ジュニアオーケストラ)
上柿 泰平 (M A F 管弦楽団)
山本 靖之 (佐賀交響楽団)
松浦 勝彦 (佐倉フィルハーモニー)
岩橋 正治 (市川交響楽団)
大川 勝之 (市川交響楽団)

国民文化祭オーケストラ部門実施経過

回・開催地	開催年月日 会 場	曲 目 等	指 揮 者 ソ リ ス ト
第1回 東京都	1986.11.23 虎ノ門ホール	みんなで楽しもう！オーケストラ祭 ●小栗原小学校合奏クラブ オベロン序曲(ヴェーバー) ラデツキー行進曲(ヨハン・シュトラウス) ●早稲田大学交響楽団 コントラバス協奏曲(クーセヴィツキー) ●国民文化祭フェスティバルオーケストラ 交響曲第9番『新世界より』(ドヴォルザーク)	佐藤日呂志 高関 健 村井 柁之(CB) オンドレイ・レナルド
第2回 熊本県	1987.10.4 熊本県立劇場 コンサートホール	アマチュアオーケストラ祭 ●ジュニア・ユースステージ 組曲『白鳥の湖』より(チャイコフスキー) ●大学ステージ 大学祝典序曲(ブラームス) ●シニアステージ 幻想交響曲(ベルオリーズ) ●合同ステージ 交響詩『フィンランディア』(シベリウス)	安永武一郎 山崎 崇伸 安永武一郎 安永武一郎
第3回 兵庫県	1988.10.30 尼崎市総合文化センター アルカニックホール	国際オーケストラ交流演奏会 ●小学生のステージ 歌劇『ザンパ』序曲(エロール) ●中・高生のステージ ふるさとの四季(源田俊一郎編曲) ●大学生のステージ 交響曲第1番(ブラームス) ●一般のステージ ピアノ協奏曲第5番『皇帝』(ベートーベン) ●合同演奏 ラデツキー行進曲(ヨハン・シュトラウス)	横山 文和 吉永 陽一 山本 直純 山本 直純 アンネ・ローゼ・シュミット(P) 山本 直純
第4回 埼玉県	1989.11.5 浦和市民会館	オーケストラ音楽祭 響け、ふれあいのハーモニー ●ジュニア・ユースの部 大学祝典序曲(ブラームス) ●大学の部 ラプソディー・イン・ブルー(ガーシュイン) ●一般の部 交響曲第5番(チャイコフスキー) ●合同の部 マイスタージンガー前奏曲(ワグナー)	金井 良次 折山 俊也 羽田健太郎(P) 折山 俊也 折山 俊也
第5回 愛媛県	1990.10.27 松山市民会館	全国オーケストラの祭典 日本をつなぐ音の架け橋 ●ジュニアのステージ 弦楽の為のアダージョ(マーニャー) アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1・第3楽章(モーツァルト) ●大学のステージ 歌劇『ナブッコ』序曲(ヴェルディ) ●一般のステージ ピアノ協奏曲第2番(ラフマニノフ) ●合同のステージ 交響曲第9番『新世界より』(ドヴォルザーク)	田中 良和 田中 良和 弘中 孝(P) 田中 良和
第6回 千葉県	1991.11.24 市川市文化会館	全国オーケストラ交流演奏会 広げようシンフォニーのひびき	
第7回 石川県	1992.10.25 野々市町文化会館	グランドメモリアルコンサート 貴方と私のハーモニー	